

【C年^{ねん}】

聖霊降臨後第二十三主日^{せいれいこうりんごだい しゅじつ}

特定二十八^{とくてい}

主よ、どうか主の民の心を奮い立たせてください。わたしたちが喜びをもってみ業にあずかり、その深い恵みによって、み助けを受けることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書^{きゅうやくせいしょ}

朗読者 「旧約聖書はマラキ書第三章十三節から」

13 あなたたちは、わたしに
ひどい言葉を語っている、と主は言われる。
ところが、あなたたちは言う

14 どんなことをあなたに言いましたか、と。
「神に仕えることはむなし。

たとえ、その戒めを守っても
万軍の主の御前を

喪に服している人のように歩いても
何の益があるうか。

15 むしろ、我々は高慢な者を幸いと呼ぼう。

彼らは悪事を行っても栄え
神を試みても罰を免れているからだ。」

16 そのとき、主を畏れ敬う者たちが互いに語り合った。主
は耳を傾けて聞かれた。神の御前には、主を畏れ、その御名
を思ふ者のために記録の書が書き記された。

17 わたしが備えているその日に

彼らはわたしにとって宝となると

万軍の主は言われる。

人が自分に仕える子を憐れむように

わたしは彼らを憐れむ。

18 そのとき、あなたたちはもう一度

正しい人と神に逆らう人

神に仕える者と仕えない者との

区別を見るであろう。

19 見よ、その日が来る
炉のように燃える日が。

高慢な者、悪を行う者は

すべてわらのようになる。

到来するその日は、と万軍の主は言われる。

彼らを燃え上がらせ、根も枝も残さない。

20 しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには

義の太陽が昇る。

その翼にはいやす力がある。

23 見よ、わたしは

大いなる恐るべき主の日が来る前に

預言者エリヤをあなたたちに遣わす。

24 彼は父の心を子に

子の心を父に向けさせる。

わたしが来て、破滅をもつて

この地を撃つことがないように。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

詩編

第九八編 四ノ九節

4 世界よ、主に向かって喜びの声を上げ＝ 声を放ち賛美

の歌で神をほめよ

5 堅琴を奏でて主をたたえ＝ その調べに合わせてほめ

歌え

6 ラッパと角笛を吹き鳴らし＝ 王である主のみ前で喜

びの声を上げよ

7 海とそこに満ちるものはどよめき＝ 世界とそこに住

む者は歌え

8 川の流れは手を打ち鳴らし＝ 山々とともに主のみ前

に喜び歌え

9 神は世界を審きに来られる＝ 正義で世界を、公平で

すべての民を審かれる

使徒書

朗読者 「使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅱ第三章六節

から」

6 兄弟たち、わたしたちは、わたしたちの主イエス・キ

リストの名によって命じます。怠惰な生活をして、わたし

ちから受けた教えに従わないでいるすべての兄弟を避けな

さい。7 あなたがた自身、わたしたちにどのように倣え

ばよいか、よく知っています。わたしたちは、そちらにいたと

き、怠惰な生活をしませんでした。8 また、だれからもパンをただでもらって食べたりはしませんでした。むしろ、だれにも負担をかけまいと、夜昼大変苦勞して、働き続けたのです。9 援助を受ける権利がわたしたちになかったからではなく、あなたがたがわたしたちに倣うように、身をもつて模範を示すためでした。10 実際、あなたがたのものにいたとき、わたしたちは、「働きたくない者は、食べてはならない」と命じていました。11 ところが、聞くところによると、あなたがたの中には怠惰な生活をし、少しも働かず、余計なことをしている者がいるということです。12 そのような者たちに、わたしたちは主イエス・キリストに結ばれた者として命じ、勧めます。自分で得たパンを食べるように、落ち着いて仕事をしなさい。13 そして、兄弟たち、あなたがたは、たゆまず善いことをしなさい。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第二十一章五節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

5 ある人たちが、神殿が見事な石と奉納物で飾られていることを話していると、イエスは言われた。

6 「あなたがたはこれらの物に見とれているが、一つの石も崩されずに他の石の上に残ることのない日が来る。」

7 そこで、彼らはイエスに尋ねた。「先生、では、そのことはいつ起こるのですか。また、そのことが起こるときには、どんな徴があるのですか。」8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがそれだ』とか、『時が近づいた』とか言うが、ついて行ってはならない。9 戦争とか暴動のことを聞いても、おびえてはならない。こういうことがまず起こるに決まっているが、世の終わりはすぐには来ないからである。」10 そして更に、言われた。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がる。11 そして、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい現象や著しい徴が天に現れる。12 しかし、これらのことがすべて起こる前に、人々はあなたがたに手を下して迫害し、会堂や牢に引き渡し、わたしの名のために王や総督の前に引つ張って行く。13 それはあなたがたにとって証しをする機会となる。14 だから、前もって弁明の準備をするまいと、心に決めなさい。15 どんな反対者

でも、対抗も反論もできないような言葉と知恵を、わたしがあなたに授けるからである。16 あなたがたは親、兄弟、親族、友人にまで裏切られる。中には殺される者もいる。17 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。18 しかし、あなたがたの髪の毛の一本も決してなくならない。19 忍耐によって、あなたがたは命を勝ち取らない。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」